

Express5800/51Td (N8000-231, 233, 234)

OS 変更手順書 (Windows 2000 Professional)

はじめに

本装置は、出荷後最初に電源を ON すると Microsoft® Windows® 2000 Professional (以降 Windows 2000)/ Microsoft® Windows NT®4.0 Workstation(以降 Windows NT4.0)のどちらかを選択してセットアップすることが出来ますが、この時選択しなかったオペレーティングシステムをインストールする場合は、別途オペレーティングシステムを購入する必要があります。

本書は、別途購入したオペレーティングシステムの CD-ROM 媒体を使用して、システムをセットアップする際の手順を記述しています。

注意事項

セットアップをはじめる前にここで説明する注意事項をよく読んでください。

システムのアップデートについて

Express5800 のシステム構成を変更したときは、必ず Express5800 に添付の CD-ROM

「EXPRESSBUILDER」からアップデートモジュールを展開し、適用してください。詳しくは、後述の「システムのアップデート」を参照してください。

ディスク構成について

ディスク領域に、「MAINTEN_P」と表示された領域が存在する場合があります。構成情報やユーティリティを保存するための保守用パーティションです。削除しないでください。

MO 装置の接続について

Windows 2000 をインストールするときに MO 装置を接続したまま作業を行なうと、インストールに失敗することがあります。MO 装置を外してインストールを最初からやり直してください。

作成するパーティションサイズについて

システムをインストールするパーティションの必要最小限のサイズは、次の計算式から求めることができます。

$$\begin{array}{lcl} 1000\text{MB} + \text{ページングファイルサイズ} + \text{ダンプファイルサイズ} & & \\ 1000\text{MB} & = & \text{インストールに必要なサイズ} \\ \text{ページングファイルサイズ(推奨)} & = & \text{搭載メモリサイズ} \times 1.5 \\ \text{ダンプファイルサイズ} & = & \text{搭載メモリサイズ} + 12\text{MB} \end{array}$$

重要 ページングファイルサイズを「推奨」値未満に設定すると正確なデバッグ情報を採取できない場合があります。

例えば、搭載メモリサイズが 512MB の場合、必要最小限のパーティションサイズは、上記の計算方法から

$$1000\text{MB} + (512\text{MB} \times 1.5) + (512\text{MB} + 12\text{MB}) = 2292\text{MB}$$

となります。

システムをインストールするパーティションサイズが「インストールに必要なサイズ」+「ページングファイルサイズ」より小さい場合はパーティションサイズを大きくするか、ディスクを増設してください。

ダンプファイルサイズを確保できない場合は、次のように複数のディスクに割り振ることで解決できます。

- (1) 「インストールに必要なサイズ」+「ページングファイルサイズ」を設定する。
- (2) ユーザーズガイドの「障害処理のためのセットアップ」を参照して、デバッグ情報(ダンプファイルサイズ分)を別のディスクに書き込むように設定する。

(ダンプファイルサイズを書き込めるスペースがディスクにない場合はインストールに「必要なサイズ」+「ページングファイルサイズ」でインストール後、新しいディスクを増設してください。)

ソフトウェア電源アンインストールについて

Windows NT 4.0 から Windows 2000 にアップグレードする場合は、あらかじめソフトウェア電源モジュールをアンインストールする必要があります。

以下に操作手順を示します。

- (1) コマンドプロンプトを開く。
- (2) 「powerdel」と入力してリターンキーを押す。
以下のメッセージが表示されます。

「ソフトウェア電源モジュールは Windows 2000 Upgrade に先だって
アンインストールする必要があります。
ソフトウェア電源モジュールのアンインストールを開始しますか(Y/N)?」

- (3) アンインストールを行う場合は、<Y>キーを押してから、<Enter>キーを押す。
アンインストールが開始されます。
<Y>キー以外を入力するとアンインストールは中断されます。また、ESMPRO/ServerAgent
をインストールしていた場合は、以下のメッセージが表示されます。

「このシステムではソフトウェア電源モジュールは
ESMPRO/ServerAgent とファイルを共有しています。ソフトウェア電
源モジュールのアンインストールの前に、まず
ESMPRO/ServerAgent をアンインストールしてください。その後必ず
OS を再起動してから再度ソフトウェア電源モジュールのアンインス
トールを実行してください。」

メッセージに従って ESMPRO/ServerAgent をアンインストールして再起動後にソフトウェア
電源モジュールをアンインストールしてください。

- (4) アンインストール終了後、システムを再起動する。

オペレーティングシステムのセットアップ

Windows 2000 の CD-ROM を使用してセットアップする手順を次に示します。

オペレーティングシステムのインストールに必要なもの

作業をはじめる前に次のディスクや説明書を用意します。

- ☐ EXPRESSBUILDER (CD-ROM)
- ☐ Windows 2000 (CD-ROM)
- ☐ Windows 2000 OEM-DISK for EXPRESSBUILDER (または 1.44MB フォーマット 3.5 インチフロッピーディスク 1 枚)

以下どちらかのオプションボードを装着し、そのオプションボード配下のディスクにインストールする場合のみ必要

- ・ ディスク ミラーリング コントローラ(N8103-51/N8503-51)
- ・ SCSI コントローラ(N8103-55/N8503-55)

重要!! 「Windows 2000 OEM-DISK for EXPRESSBUILDER」は、ディスク ミラーリング コントローラ(N8103-51/N8503-51)、または SCSI コントローラ(N8103-55/N8503-55)装着時に、シームレスセットアップを使用しないで Windows 2000 をインストールするときに必要なフロッピーディスクで、Windows 2000 のインストールを始める前に作成しておく必要があります。

次項の「インストールの準備」でディスクの作成方法を説明しています。

ディスク ミラーリング コントローラ(N8103-51/N8503-55)、または SCSI コントローラ(N8103-55/N8503-55)を使用しない場合は作成する必要はありません。

- ☐ クイックスタートガイド
- ☐ ユーザーズガイド

インストールの準備

ディスク ミラーリング コントローラ(N8103-51/N8503-51)、または SCSI コントローラ(N8103-55/N8503-55)装着時には、「Windows 2000 OEM-DISK for EXPRESSBUILDER」が必要になります。インストールをはじめる前に「Windows 2000 OEM-DISK for EXPRESSBUILDER」を作成してください。

ヒント すでにこの装置用の「Windows 2000 OEM-DISK for EXPRESSBUILDER」をお持ちの場合は、再度作成する必要はありません。

Windows 2000 OEM-DISK for EXPRESSBUILDER は、次の 2 通りの方法で作成することができます。

- **EXPRESSBUILDER で Express5800/51Td を起動して表示されるメニューから作成する**

Windows 2000 OEM-DISK for EXPRESSBUILDER を作成するために使用できるコンピュータが Express5800/51Td しかない場合は、この方法で作成します。ただし、Express5800/51Td が Windows 2000 や Windows NT 4.0 などで作動できる場合は、この後の「マスターコントロールメニューから作成する」でも作成することができます。

次の手順で作成します。

- 1 3.5 インチフロッピーディスクを 1 枚用意する。

- 2 Express サーバの電源を ON にする。
- 3 Express サーバの CD-ROM ドライブに CD-ROM 「EXPRESSBUILDER」をセットする。
- 4 CD-ROM をセットしたら、リセットする（<Ctrl>+<Alt>+<Delete>キーを押す）か、電源を OFF/ON して Express サーバを再起動する。
CD-ROM からシステムが立ち上がり、EXPRESSBUILDER が起動します。
- 5 「ツールメニュー」から「サポートディスクの作成」を選択する。
- 6 「サポートディスク作成メニュー」から「Windows 2000 OEM-DISK for EXPRESSBUILDER」を選択する。
- 7 画面の指示に従ってフロッピーディスクをセットする。
「Windows 2000 OEM-DISK for EXPRESSBUILDER」が作成されます。作成した
「Windows 2000 OEM-DISK for EXPRESSBUILDER」はライトプロテクトをし、ラベルを貼って大切に保管してください。

● マスターコントロールメニューから作成する

マスターコントロールメニューは、次のオペレーティングシステム上で起動します。

- Windows 95
- Windows 2000
- Windows NT 4.0
- Windows NT 3.51

*Windows 98 では使用できません。

上記のオペレーティングシステムで動作しているコンピュータを使用できる場合は、マスターコントロールメニューから Windows 2000 OEM-DISK for EXPRESSBUILDER を作成することができます（Express5800/51Td も含まれます）。

次の手順で作成します。

- 1 3.5 インチフロッピーディスクを 2 枚用意する。
- 2 Windows 95 または Windows NT 3.51/4.0 を起動する。
ヒント Windows 98 では使用できません。
- 3 CD-ROM 「EXPRESSBUILDER」を CD-ROM ドライブにセットする。
マスターコントロールメニューが起動します。
ヒント Windows NT 3.51 ではメニューが自動起動しません。エクスプローラなどで CD-ROM 内の
「¥WINNT¥BIN¥MAKEFD¥W2K¥MAKEOEM.BAT」を起動し、手順 5 へ進んでください。
- 4 [2nd] (Setup Tool) を左クリックし、[OEM ディスクの作成] をクリックする。
ヒント 右クリックで現れるポップアップメニューでも同様の操作ができます。
- 5 画面の指示に従ってフロッピーディスクをセットする。
「Windows 2000 OEM-DISK for EXPRESSBUILDER」が作成されます。
作成した「Windows 2000 OEM-DISK for EXPRESSBUILDER」はライトプロテクトをし、ラベルを貼って大切に保管してください。

Windows 2000 のインストール

次の手順に従ってインストールします。インストールは、「新規インストール」と Windows NT 4.0 がインストールされている装置を Windows 2000 にする「アップグレードインストール」の 2 つの方法があります。

新規インストール

- 1 システムの電源を ON にする。
- 2 Express ワークステーションの CD-ROM ドライブに Windows 2000 CD-ROM をセットする。

画面に POST(Power On Self-Test)の実行内容が表示されます(「NEC」ロゴが表示された場合は<ESC>キーを押してください)。しばらくすると、次のメッセージが画面左下に表示されます。

Press <F2> to enter SETUP

- 3 <F2>キーを押し、BIOS SETUP ユーティリティを起動する。
- 4 「Advanced」メニューの「Advanced」の「Installed O/S」を「PnP O/S」に設定する。
- 5 「Exit」メニューの「Save Changes & Exit」を選択した後、[Yes]を選択し、システムを再起動させる。

重要!! ハードディスク上に起動可能な OS がインストール済の場合は、画面上部に「Press anykey to boot from CD...」が表示がされている間に<Enter>キーを押してください。起動可能な OS が存在しない場合は不要です。

- 6 装置に ディスク ミラーリング コントローラ(N8103-51/N8503-51)、または SCSI コントローラ(N8103-55/N8503-55) が装着されている場合、システムの電源 ON 後、画面が以下の状態のときに<F6>キーを押す。

- Setup is inspecting your computer's hardware configuration...の表示中

「Setup could not determine the type of one or more mass storage devices installed in your system, ...」もしくは

「Setup was unable to load support for mass storage device you specified....」

というメッセージと選択画面が表示されます。選択画面が表示されなかった場合は、<F6>キーが正しく押されていません。<F3>キーを押してセットアップを終了し、もう一度システムの電源を ON し直してから始めてください。

ヒント ディスク ミラーリング コントローラ(N8103-51/N8503-51)、または SCSI コントローラ(N8103-55/N8503-55)が装着されていない場合は、<F6>キーを押す必要はありません。電源 ON 後、そのままメッセージに従って続行してください。手順は 1 1 に進みます。

- 7 <S>キーを押す。

- 8 「Windows 2000 OEM-DISK for EXPRESSBUILDER #1」をフロッピーディスクドライブにセットし、<Enter>キーを押す。
SCSI アダプタのリストが表示されます。
- 9 装着されているオプションボードのメニューを選択し、<Enter>キーを押す。
ディスク ミラーリング コントローラ(N8103-51/N8503-51) を装着している場合：
Win2000 Promise FastTrak66 (tm) Controller (PDC20262)
・SCSI コントローラ(N8103-55/N8503-55)を装着している場合：
Win2K AdvanSys U2W/U3W SCSI Adapter
- 10 以降はメッセージに従って作業を続けてください。

重要!! セットアップの途中で、Windows 2000 をインストールするパーティションを設定する画面が表示されます。この時にハードディスクの先頭に表示される 16MB の領域は、Express5800 特有の構成情報や専用のユーティリティを保存するために使用されるパーティションです。

以降、自動的にシステムが再起動され、Windows 2000 セットアップウィザードが起動します。
Windows 2000 セットアップウィザード各項目の詳細については、「クイックスタートガイド」を参照してください。

- 11 インストール終了後、後述の「システムのアップデート」および、「ドライバのインストールと詳細設定」を参照して各種設定をする。

アップグレードインストール

Windows NT 4.0 がインストールされている装置を Windows 2000 にアップグレードする手順を次に示します。

- 1 システムの電源を ON にし、Windows NT 4.0 を起動する。

重要!! あらかじめソフトウェア電源モジュールをアンインストールする必要があります。手順は本書先頭の注意事項「ソフトウェア電源アンインストーラについて」を参照してください。

- 2 管理者権限のあるアカウント(administrator 等)でログオンする。
- 3 Express ワークステーションの CD-ROM ドライブに Windows 2000 CD-ROM をセットする。

以下のメッセージが表示されます。

この CD-ROM には現在使用している Windows より新しいバージョンが含まれています。
Windows 2000 にアップグレードしますか？

- 4 [はい]をクリックする。

アップグレードか新規インストールかを選択するダイアログボックスが表示されます。

- 5 「Windows 2000 にアップグレードする(推奨)」を選択し、[次へ]をクリックする。

「Windows 2000 ライセンス契約」が表示されます。

- 6 内容に同意する場合は、「同意します」をチェックし[次へ]をクリックする。

ファイルのコピー後、自動的に再起動します。

ヒント Windows 2000 CD-ROMは CD-ROM ドライブに挿入したままでかまいません。

画面に POST(Power On Self-Test)の実行内容が表示されます(「NEC」ロゴが表示された場合は<ESC>キーを押してください)。しばらくすると、次のメッセージが画面左下に表示されます。

Press <F2> to enter SETUP

- 7 <F2>キーを押し、BIOS SETUP ユーティリティを起動する。
- 8 「Advanced」メニューの「Advanced」の「Installed O/S」を「PnP O/S」に設定する。
- 9 「Exit」メニューの「Save Changes &Exit」を選択した後、[Yes]を選択し、システムを再起動させる。

再起動後、Windows 2000 のインストールが開始されます。

- 1 0 装置にディスク ミラーリング コントローラ(N8103-51/N8503-51)、または SCSI コントローラ(N8103-55/N8503-55)が装着されている場合、システムの再起動後、画面が以下の状態のときに<F6>キーを押す。

- Setup is inspecting your computer's hardwareconfiguration...の表示中

「Setup could not determine the type of one or more mass storage devices installed in your system, ...」
もしくは

「Setup was unable to load support for mass storage device you specified....」

というメッセージと選択画面が表示されます。選択画面が表示されなかった場合は、<F6>キーが正しく押されていません。<F3>キーを押してセットアップを終了し、もう一度システムの電源を ON し直してから始めてください。

ヒント ディスク ミラーリング コントローラ(N8103-51/N8503-51)、またはSCSI コントローラ(N8103-55/N8503-55)が装着されていない場合は、<F6>キーを押す必要はありません。電源 ON 後、そのままメッセージに従って続行してください。手順は 1 5 に進みます。

- 1 1 <S>キーを押す。

- 1 2 「Windows 2000 OEM-DISK for EXPRESSBUILDER #1」をフロッピーディスクドライブにセットし、<Enter>キーを押す。

SCSI アダプタのリストが表示されます。

- 1 3 装着されているオプションボードのメニューを選択し、<Enter>キーを押す。

ディスク ミラーリング コントローラ(N8103-51/N8503-51) を装着している場合：

Win2000 Promise FastTrak66 (tm) Controller (PDC20262)

・SCSI コントローラ(N8103-55/N8503-55)を装着している場合：

Win2K AdvanSys U2W/U3W SCSI Adapter

- 1 4 Windows 2000 インストール完了後、管理者権限のあるアカウント(administrator 等)でログオンする。

- 1 5 後述の「システムのアップデート」および、「ドライバのインストールと詳細設定」を参照して各種設定をする。

システムのアップデート

システムのセットアップ完了後、必ず以下の手順でシステムをアップデートしてください。

重要!! システム構成を変更した場合も再起動する前に必ずシステムのアップデートをしてください。
(システム構成を変更した後、再起動を促すダイアログボックスが表示される場合は [いいえ] ボタンをクリックし、システムをアップデートしてください。)
修復プロセスを使用してシステムを修復した場合も必ずシステムをアップデートしてください。

- 1 管理者権限のあるアカウント(administrator 等)で、システムにログオンする。
- 2 CD-ROM『EXPRESSBUILDER』をExpressサーバのCD-ROMドライブにセットしてください。
- 3 表示された画面「マスターコントロールメニュー」の [ソフトウェアのセットアップ] を左クリックし、メニューから [システムのアップデート] をクリックすると起動します。
以降は画面に表示されるメッセージに従ってアップデートを続行してください。
- 4 [コンピュータの再起動] ボタンをクリックしてシステムを再起動させる。

ドライバのインストールと詳細設定

システムをアップデートして再起動後、各種のドライバのインストールを行います。

・ネットワークドライバ

標準装備のネットワークドライバは、自動的にインストールされますが、転送速度と Duplex モードの設定が必要です。ユーザズガイドの「デバイスドライバのセットアップ」を参照して設定してください。

・グラフィックスアクセラレータドライバ (ディスプレイドライバ)

オプションのグラフィックスアクセラレータボードを使用する場合は、そのボードに添付されている説明書に従ってドライバをインストールしてください。必要に応じて各種設定を行なってください。

・3モードフロッピードライバ

Windows 2000 では2モードフロッピードライバが標準でインストールされます。3モードフロッピードライバを使用したい場合は、ユーザズガイドの「デバイスドライバのセットアップ」を参照してドライバをインストールしてください。

・サウンドドライバ

ユーザズガイドの「デバイスドライバのセットアップ」を参照してドライバをインストールしてください。

- ・ **その他のオプションのデバイスドライバ**

オプションのデバイスでドライバをインストールしていないものがある場合は、オプションに添付の説明書を参照してドライバをインストールして下さい。

障害処理のためのセットアップ

各種のドライバのインストール後、ユーザズガイドの「障害処理のためのセットアップ」を参照して障害処理のためのセットアップをして下さい。